

リスクと機会

NECは、財務リスクと、NECが環境・社会にも負の影響を与える恐れのある非財務（ESG）リスクを適切に把握し、効果的・効率的に対策を講じるとともに、リスクを新たな事業機会として活かすための取り組みを進めています。例えば、ESG視点の経営優先テーマ「マテリアリティ」の取り組みをとおし、リスクの最小化と提供価値の最大化をはかり、将来の財務パフォーマンス向上やSDGs達成への貢献にもつなげていきたいと考えています。

リスク・マネジメント体制

全社リスク管理の監督機能は、委員長をCLCO（チーフリーガル&コンプライアンスオフィサー）とし、役員で構成されるリスク・コンプライアンス委員会が担っています。当委員会では、毎年重点対策リスクを選定し、担当部門から具体的な施策や進捗状況について定期的に報告を受け、必要に応じて施策の改善や強化に向けた対策を講じています。特に重要な案件は、CEOが出席する経営会議や事業執行会議などでも報告します。

重点対策リスクは、対策の必要性、企業経営への影響の大きさ、および社会への影響度などの観点から抽出された重要リスクの中から、特に影響が大きいものが選定されます。また、近い将来発生し企業経営に対して長期的に影響を与える可能性のあるリスク（エマージング・リスク）について、それが事業に与える潜在的なインパクトを予測し適切な対策を打つことで、そのリスクを最小限に抑えられるよう対処しています。



主なリスクと機会、およびそれらへの取り組み

NECが把握する主なリスクと機会、およびそれらに対するNECの主要な取り組みは次の通りです。これらのリスクは、急速な変化に柔軟に対応するよう、適宜見直しを図ります。

財務

	リスク(●)と機会(○)	取り組み (統合レポート参照ページ)
経済環境や金融市場の動向	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済動向、市況変動による影響 ● 為替相場および金利の変動 ● 感染症、人為災害、自然災害による悪影響 ○ 社会課題の解決策として、ICTへの期待の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ I P.46 地球と共生して未来を守る P.52 事業紹介
NECグループの経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務および収益の変動 ● 企業買収・事業撤退 ● 戦略的パートナーとの提携関係の維持困難 ● 市場参入の失敗、カントリーリスク ○ 2025中計の実行による新たな成長 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ I P.22 2025中期経営計画 P.30 CFOメッセージ P.34 R&Dと事業開発 P.40 挑戦する人の、NEC。 P.46 地球と共生して未来を守る
NECグループの事業活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定の主要顧客への依存 ● 新規事業の展開、競争の激化 ○ 事業機会の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ I P.52 事業紹介

非財務

マテリアリティ	リスク(●)と機会(○)	取り組み
気候変動を核とした環境課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然災害によるシステム障害 ● CO₂排出量に伴う費用増 ○ ICTソリューションの提供 	<p>自社のみならずお客様のビジネスからのCO₂排出量削減に貢献。「NECエコ・アクションプラン2025」に基づき、SBT1.5°C達成に向け、省エネ化の徹底と再生可能エネルギーの活用拡大を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P46 地球と共生して未来を守る ▶ S 気候変動への対応
ICTの可能性を最大限に広げるセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報漏洩、不正アクセス、システム障害 ○ セキュリティ人材の育成 ○ 堅牢な情報システムの提供・運用 	<p>情報セキュリティ対策の確実な推進。セキュアな製品・システム・サービスの提供。情報セキュリティ人材の育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P34 R&Dと事業開発 ▶ S 情報セキュリティとサイバーセキュリティ
AIと人権	<ul style="list-style-type: none"> ● 新技術に伴うプライバシー侵害 【2020年度重点対策リスク、エマージング・リスク】 ○ 競争力強化 	<p>「NECグループ AIと人権に関するポリシー」をもとに、適正なAIの利活用、技術開発と人材育成、ステークホルダーとの連携・協働を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P34 R&Dと事業開発、P60 人権の尊重 ▶ S 人権の尊重、AIと人権、個人情報保護、プライバシー、インベーション・マネジメント
多様な人材の育成とカルチャーの変革	<ul style="list-style-type: none"> ● ハラスメント【2020年度重点対策リスク】 ● 人材の確保、育成 ○ 従業員エンゲージメント向上による組織力アップ 	<p>イノベーションの源泉であるダイバーシティの加速と、多様なタレントのワークスタイルを支える働き方改革の実行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P40 挑戦する人の、NEC。 ▶ S 人材開発・育成、インクルージョン&ダイバーシティ、多様な働き方への環境づくり
コーポレート・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 会計プロセス不備【2020年度重点対策リスク】 ● 秘密情報管理【2020年度重点対策リスク、エマージング・リスク】 ● グループガバナンス ○ 社会からの信頼獲得 	<p>コーポレート・ガバナンスの更なる透明性向上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P6 社長メッセージ、P22 2025中期経営計画、P30 CFOメッセージ、P64 コーポレート・ガバナンス ▶ S コーポレート・ガバナンス
サプライチェーンサステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・人権リスク ○ サプライヤーとの協働・共創 	<p>すべての調達取引先への「サプライチェーンにおける責任ある企業行動ガイドライン」の周知と宣言書の取得推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P62 サプライチェーンサステナビリティ ▶ S サプライチェーン・マネジメント
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス事故（違法行為、不正行為） ● レピュテーションリスク ● 製品およびサービスの品質、欠陥 ○ 社会からの信頼獲得 	<p>役員から従業員に至るまで「NECグループ行動規範」（Code of Conduct）に基づく行動を日々実践。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ I P58 リスクと機会 ▶ S コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスとリスク・マネジメント、人権の尊重、AIと人権、個人情報保護、プライバシー、サプライチェーン・マネジメント、品質・安全性の確保

SDGsは特にインパクトの大きいゴールを記載しています。

I : NEC統合レポート2021、**S** : サステナビリティレポート2021